

# 泡瀬・美ら島 便り



内閣府 沖縄総合事務局 / 那覇港湾・空港整備事務所 / 中城湾港出張所

平成20年 10月10日発行

## 施工業者抱負



この度、『中城湾港土砂処分場仮設航路 (-3.5m) 浚渫工事』を受注しました  
みらい建設工業(株)です。今回の工事で、仮設航路が開通する予定です。

当社の環境方針は「自然との共生」「環境との調和」を経営方針としております。

当社は過去2年間中城湾港泡瀬地区人工島事業を受注し、色々な汚濁防止対策  
を実施してきました。

今年度の工事でも過去の経験を生かし、「創意工夫と確かな技術」で環境保全に  
全力で取り組みます。

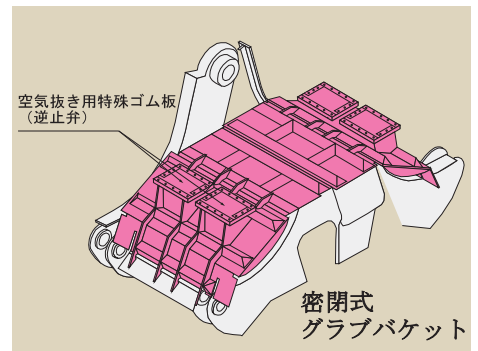


作業所長  
松永 秀彰

## 工事中における環境保全対策の詳細について

### 1. 密閉式グラブバケットを使用したグラブ浚渫

グラブ浚渫において発生する濁りは、グラブ操作による土砂の掘削、揚土により発生します。この濁り発生を抑制するために、本工事において密閉式グラブバケットを使用します。当施工区域では初めての試みですが、掘削した土砂を密閉したグラブバケット内に閉じ込めることで、グラブバケットからの土砂の流出による濁り発生を抑制できると考えています。



### 2. 水質汚濁防止枠の改良

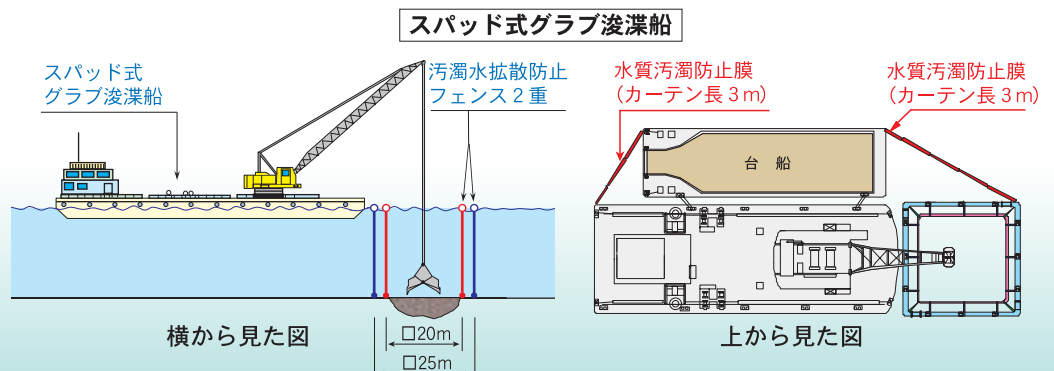
水質汚濁防止枠からの汚濁拡散の抑止をより効果的にするため、水質汚濁防止枠の汚濁水拡散防止フェンスを2重にします。構造は、水質汚濁防止枠のサイズを20m×20mから25m×25mに変更し、内側に20m×20mの汚濁水拡散防止フェンスを設置します。「平成18年度中城湾港土砂処分場仮設航路 (-3.5m) 浚渫工事」の施工において十分な効果が得られました。

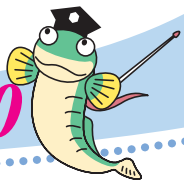


### 3. グラブ浚渫船と台船の間に水質汚濁防止膜を設置

グラブ浚渫船に台船を接舷した後、台船の前後に水質汚濁防止膜を設置し、浚渫土積込時の汚濁拡散を低減します。

また、グラブ浚渫は、1掘削ごとにグラブバケットを水質汚濁防止枠内水面上で一旦停止し、水切りを十分におこない、微速にて旋回し、台船中央に静かに積み込みます。





### 環境監視調査結果 (オキナワヤワラガニ)

工事を進めるにあたっては、周辺環境への影響の有無を確認するための環境監視調査を実施しております。

例えば、騒音・振動・水質・鳥類・海藻草類などを基本の環境監視項目として実施しています。

それとは別に、新たに確認された貴重種についても、補足項目として監視調査を実施しております。今回はこの中のオキナワヤワラガニについてご紹介します。

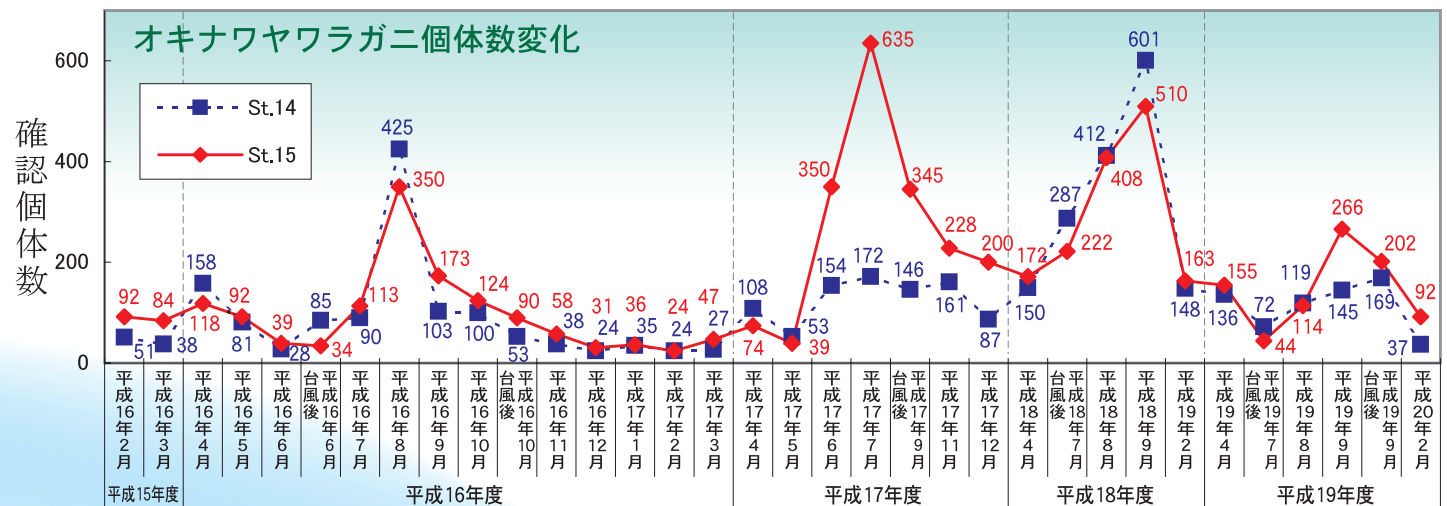


実物大 ▶

オキナワヤワラガニは1994年に沖縄本島北部の大浦川河口で新種として確認されました。最近では沖縄本島だけでなく、石垣島や西表島でも生息が確認されています。主に砂泥質干潟の転石の下に住み、甲長が5mm程の非常に小さなクモのようなカニです。

泡瀬周辺でも確認されたため、平成16年から2地点で監視調査を行いました。調査はカニの生息状況や水質等を調べました。

オキナワヤワラガニの生態は未だ不明な点が多いのですが、調査の結果、毎年夏頃に繁殖を行い個体数が増加することが分かってきました。また、夏から冬にかけて大きく成長すること、冬には個体数が減少することなどの傾向があることが分かってきました。下図からも分かるように、工事着手後もその傾向は変わらず、オキナワヤワラガニが泡瀬干潟では確認されております。



### イベント等の開催報告



#### ◆パネル展示会

9月20日(土)、21日(日)、「第5回沖縄市東部まつり」の会場内において、泡瀬地区及び新港地区のパネル展を開催しました。

パネル展は大変好評で、当事業への関心の高さを実感することができました。今後もイベント等を通じて同事業に対する市民へのご理解が一層深まってくよう努めて参ります。

